

2023 年度都道府県コーチデベロッパークラス講習会 開催要項

○開催の趣旨

2019 年度に改定されたコーチライセンス制度における C 級コーチ養成講習会、D 級コーチ養成講習会を担当するコーチデベロッパーを養成する講習会を開催します。

JBA では、日本バスケットボール協会に関わるすべてのコーチを対象とした、日本におけるバスケットボール指導の「柱となる指導目標」として、コーチング指針を定めています。具体的には、国際競技力向上を常に視野におきつつ、安心・安全を最優先しながら、プレーヤーの主体性を重視し、ゲームの質や技能向上を促進するための指導のあり方を明らかにしたものです。

日本バスケットボール協会コーチング指針

1. バスケットボールが大好きなプレーヤーを育てよう
2. バスケットボールという競技を楽しむことができるプレーヤーを育てよう
3. バスケットボールをプレーすることに誇りを持つことができるプレーヤーを育てよう
4. バスケットボールに関わる全ての人々を尊重できるプレーヤーを育てよう
5. フェアプレーの精神を理解し、あらゆる面で公正・公平な行動を心がけるプレーヤーを育てよう
6. 主体的にバスケットボールに取り組み、自ら考え、判断することができるプレーヤーを育てよう
7. 失敗を恐れず、自ら挑戦し、工夫し、努力することができるプレーヤーを育てよう
8. 自らの考えを伝え、他者の言葉に耳を傾けられるプレーヤーを育てよう
9. バスケットボールを通じてより善い人生を生きることができるプレーヤーを育てよう

こういったプレーヤーを育成するためには、コミュニケーションによってプレーヤー自身の問題解決能力や主体性をはぐくむことができるコーチ、そして、プレーヤーの意思や個性を尊重することができる人間性を有したコーチを養成する必要があります。技術や戦術に関する知識があっても、それを一方的に伝えるだけの指導では、問題解決能力が高く主体性のあるプレーヤーを育てることはできません。指導者のコミュニケーション能力が低く、プレーヤーの意思や個性を尊重することができなければ、暴言暴力など様々な問題を引き起こす可能性もあります。

また、「人間力なくして競技力向上なし」という言葉があるように、プレーヤーの人間力向上が土台としてあり、その上に競技力の向上があると考えています。プレーヤーの人間力を向上させるためには、指導者自身が人間力を有することが必要です。その上で、バスケットボールプレーヤーのあり方やスポーツ、バスケットボールの価値を伝えることができなければいけません。つまり、指導者自身がインテグリティの精神を理解し、それを体現することが必要なのです。

そこで、このような指導者を養成するために、JBA ではコーチ育成者をコーチデベロッパーと呼ぶこととし、コーチデベロッパーを養成した上で、全国のコーチ養成に取り組むこととしました。

コーチデベロッパー (Coach Developer) とは、「単に経験豊かなコーチやコーチングの知識の伝道者であるだけでなく、ポジティブで効果的なスポーツ体験をすべての参加者に提供するために、コーチを育成・支援し、コーチが知識やスキルを常に磨いて向上させることを促すトレーニングを受けた人」(『国際コーチデベロッパーフレームワーク』)と定義されています。つまり、コーチデベロッパーとは「コーチの学びを支援し、育成する人」と言えます。

コーチデベロッパーの役割は、「(1) ファシリテーション、(2) [資格制度上でのコーチの] 評価、(3) メンタリング、(4) プログラム作成とその評価、(5) リーダーシップと個人の能力開発」など多岐に渡りますが、JBA では、主にファシリテーションのスキルを向上させることで、現行の講習会をよりいっそう充実させ、コーチのよりよい学びの支援をすることを目指します。

よりよいコーチデベロッパーがコーチの学びを支援することができ、よりよいコーチを育成することができれば、よりよいプレーヤーの育成につながっていく、そんな世界をJBAは創りたいと考えています。

○都道府県コーチデベロッパーの役割

・JBA 公認 C 級・D 級コーチ養成講習会を担当する。(コーディネーター、講師、ファシリテーター)

※コーチデベロッパーは、JBA 公認 C 級・D 級コーチ養成講習会のカリキュラムにしたがって講習会を展開していきます。

※従来の講習会は一方向の知識伝達が中心のプログラムでしたが、新たな C 級・D 級コーチ養成講習会は受講者参加型・双方向型(受講者が考える、対話する、実践する、発表して共有する等)のプログラムとなります。

○都道府県コーチデベロッパーに必要な資質・能力

1. コーチングに関する学びを継続して実践する意識及びスポーツを通じた人材育成(成長)とコーチングに対する熱意を有していること。
2. 都道府県コーチ養成講習会担当者を継続して行い、実践力を高めることが可能であること。
3. 高い倫理観及び人間力(思慮深さ、知恵、規範意識、勇気、忍耐力、情熱、思いやり)を有していること。
4. コミュニケーション能力が高いこと。
5. 自分以外の考え方を受け入れる柔軟性、豊かな発想力、臨機応変な対応力を持っていること。
6. パワーポイントや映像を利用した講習が実施できること。

○都道府県コーチデベロッパーの受講条件

都道府県コーチデベロッパーには、上記の「必要な資質・能力」に加え、以下の条件が必要となります。

1. 通算5年以上のバスケットボールに関する指導歴またはコーチ育成経験があること。
2. JBA 公認 B 級以上のコーチライセンスを保持していること。
3. コーチデベロッパー講習会の開催趣旨、コーチデベロッパーの役割を理解し、コーチデベロッパーとして活動する意思があること
4. オンライン講習、対面講習含め、全日程の受講ができること

○開催日時

対面講習開催前に、オンライン講習を実施いたします。

【オンライン講習】

2023年8月23日（水）19時00分～21時00分（予定）

【対面講習】

2023年9月9日（土）12:15～19:00（12:00 開場・受付開始）

9月10日（日）8:30～17:00（8:15 開場）

※全日程の参加が必要となります。

※対面講習のスケジュールは変動する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

○会場

味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC） 屋内トレーニングセンター（予定）

〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1

アクセス <https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/tabid/1721/Default.aspx>

○定員

40名

※ファシリテーション実践を受講者全員に1回以上行っていただくため、定員を設けさせていただきます。

※受講者が10名に満たない場合、中止といたします。

○受講料

19,800円（税込）

※コーチデベロッパーは講習会を担当することによって一定の謝金が支払われることから受講料は本人負担とします。

○テーマ・プログラム・アウトカム

テーマ：「学習者中心の学び」を目指す

プログラム：

- ・ C 級・D 級コーチ養成講習会ワークブックの内容について
- ・ ファシリテーションプロセスと基本スキル
- ・ C 級・D 級の内容に沿ったファシリテーション実践とレビュー
- ・ ファシリテーションスキル
- ・ よりよいファシリテーションを実施するためのツール・知識
- ・ コーディネーターとしてのアクションプラン

アウトカム（成果）：

「この講習会が終了するときに、受講生は（１）コーチの学びを促進するファシリテーションをするために必要な知識・スキルを理解することができ、（２）C 級・D 級のファシリテーションを実践することができるようになる」

○講師（ファシリテーター）

JBA 指導者養成委員会

○事前課題

- ・ C 級・D 級ワークブックの事前課題をやっておくこと（事前課題は受講者に後日お送りします）。
- ・ C 級・D 級講習会の映像を視聴すること（映像は受講者に後日展開します）。
- ・ コーチデベロッパーブックレットを熟読すること（ブックレットは受講者に後日お送りします）。
- ・ セッションプラン（いわゆる講習会の指導案）を作成すること（作成要領は受講者に後日お送りします）。
- ・ 「バスケットボール指導教本 改訂版 上巻・下巻」を十分理解しておくこと。

○認定基準

本講習会の修了認定にあたっては、以下のコンピテンス（能力）を基準とする。

1. C級・D級コーチ養成講習会を円滑にできるファシリテーションスキルを身に付けている。
2. バスケットボール指導者に必要な「人間力」を伝えることができる。
3. C級・D級コーチ養成講習会受講生の評価が適切にできる。

○持ち物

- ・筆記用具 ・屋内シューズ ・実技のできる服装 ・保険証 ・バスケットボール指導教本改訂版 上下巻
- ・C級, D級ワークブック ・作成したセッションプラン ・コーチデベロッパーブックレット

○感染対策について

感染症リスクを減らすため、基本的な感染対策を行っていただきますようお願いいたします。

■基本的な感染対策

- ・ マスクの着用は個人の判断に委ねることを基本とします。
- ・ 講習会では様々な備品を共有します。手指消毒などにもご協力ください。

■体調不良者の対応について

- ・ 以下いずれかの目安に該当する「体調不良者」は、講習会への参加を見合わせてください。
 - (ア) 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - (イ) 重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合
 - (ウ) 比較的軽い風邪が続く場合
- ※体調不良者は発症から数えて2日、および症状消失後より数えて3日間は活動を休み、自宅療養することを推奨します。

○費用・宿泊について

- ・往復交通費と宿泊代はJBAにて負担いたします。
- ・宿泊先は会場（NTC）の宿泊施設をJBAにて一括手配します。
 - * NTC の宿泊施設は、ツイン・トリプルでの宿泊になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - * NTC は各競技団体の代表選手の利用が優先されるため、宿泊施設が予約できない場合は、近隣ホテルを一括手配いたします。

* 通いででの参加が可能な場合は、通いででの参加も可能です。

* 個別に宿泊を手配することも可能ですが、JBA で負担する額に上限がございますので予めご了承ください。

・以下の基準を満たす場合は前泊・後泊分をお支払いいたします（上限があります）。

自宅最寄駅出発時刻：7 時以前となる場合 または 自宅最寄駅到着時刻：23 時以降となる場合

・前泊、後泊については、原則各自ご手配ください。

・旅行代理店の宿泊パックプランで宿泊を含む旅費が通常の往復交通費と比較して割安である場合は、宿泊パックをご利用いただいても構いません。その場合はパック料金をお支払いいたします。

・宿泊方法、精算方法等の詳細は後日参加者にご案内いたします。

○コーチデベロッパーの認定・登録について

・今回の講習会を修了し、コーチデベロッパーとして認定された場合には 2023 年度に登録手続きを行っていただきます。

・コーチデベロッパーの登録料は 3,000 円／年となります。

○都道府県開催の C 級・D 級コーチ養成講習会について

・2019 年度以降、C 級・D 級コーチ養成講習会を都道府県協会にて担当していただきます。（E 級コーチ養成講習会は e ラーニングにて受講）

・認定されたコーチデベロッパーがいない都道府県においては、近隣都道府県または JBA にコーチデベロッパーの派遣を依頼し、講習会を計画・開催することとします。

・2022 年度以降の C 級・D 級コーチ養成講習会は、必ず認定されたコーチデベロッパーが講習会を担当することとします。

・本講習会を修了し、認定されたコーチデベロッパーは、「C 級・D 級講習会（オンラインコース）」も担当することができます。

○その他

・倫理規程違反など講習会の受講者としてふさわしくない行為があったと認められたときは、受講の取消しや受講済科目の取消しなどの処分を行う場合があります。

○本件に関する連絡先

JBA 基盤強化グループ 育成普及・指導者養成担当 鈴木・関根・中瀬・渡邊

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-27 後楽鹿島ビル6階

TEL 03-4415-2044 (指導者養成直通/平日 10:30~17:00)

E-mail jba-coach@basketball.or.jp